

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	名称
事業名	98	国際交流推進事業	会計	01	一般会計
基本施策	55	外国人と交流でき、共生できる地域社会をつくる	款	02	総務費
施策	3	市民による国際交流の促進	項	01	総務管理費
			目	07	文化振興費
			細目	102	国際交流推進事業
			細々目	01	国際交流推進事業
基本計画該当頁	188	担当部課	コード	550100	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号	1	名称	伊賀総務振興課		塚脇 逸子
					連絡先 45 - 9111 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	市民及び伊賀市に在住する外国人 (対象件数)	交流を通じて、異なる文化についての関心や理解を深め、多文化共生社会を推進します。
開始年度	平成 9 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	開封市から人民代表大会(議員)が、伊賀市へ、いがまちからも開封市へ訪中。	状況変化等 2007年4月1日に伊賀市国際交流協会が発足し、その下部組織のいがまち地区委員会として活動している。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	() 人
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
訪中事業	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1	1	1
訪日事業(受け入れ)	回	目標 1 実績 0	目標 1 実績 1	1	1
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
伊賀市国際交流協会いがまち地区委員会会員数	会員への登録が国際交流推進に理解を示すこととなる。	人	目標 63 実績 63	目標 85 実績 94	87	88
伊賀市国際交流協会いがまち地区委員会会員事業者数	会員への登録が国際交流推進に理解を示すこととなる。	社	目標 4 実績 4	目標 4 実績 4	5	5

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	3	平成9年から活発に中国開封市と交流して地域を活性化させている、いがまち地区委員会の活動を今後も協働していく必要がある。
有効性	4	平成9年から中国の開封市との交流が盛んであり、いがまち地区の企業は中国の研修生も多く受け入れて、地域を活性化している。
達成度	4	18年度は100%の達成度である。
効率性	4	予算が非常に少ない中で、会員の自費で事業を展開している部分が多い。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	事務局がかかわる部分が多いので、できるだけ委員会が自主的に活動をしていくよう協議して改善していく。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)												
委託		委託料			360	委託料			342	会議費			5	会議費			5
										事務費			25	事務費			25
工事										事業費			221	事業費			221
進捗率(%)		事業費計(A)				事業費計(A)				事業費計(A)				事業費計(A)			
		360				342				251				251			
事業投入人員		人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720
フルコスト(A)+(B)		1,800				1,782				971				971			

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	360	342	251	251
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他	360			
備考	特定財源の名称・補助基本額・率				
	地方債の区分と充当率等	文化振興基金から繰り入れ			
	一般財源	0	342	251	251
	計	360	342	251	251